

祝 組織代表として 山田宏氏 当選!

会長 鶴岡 裕亮

7月10日(日)第26回参議院議員通常選挙投票終了時刻の午後8時、三原じゅん子選挙事務所には多くの支援者が駆けつけていた。そして、早々の当選確実が報じられると、歓喜の中万歳三唱が行われた。

その後、もう一人の推薦候補者である浅尾慶一郎選挙事務所に向かう途中で当確の吉報を聞き、安堵の胸をなでおろし、波乱に満ちた今回の参議院選神奈川選挙区における「戦い」が終わった。

今回は、補選を含め5名当選(5位は任期3年)の複雑な状況において、自民党公認候補者2名選出という厳しい選挙戦であったが、本連盟では3年後の島村大参議院議員の事を念頭に入れながら、なんとしても2名の候補者を4位以内での当選を勝ち取るための選挙対策を行った。日頃から衆参両議員、県・市・町議会議員、企業団体役員、地域歯科医師連盟役員と共に良好な関係を築き上げていることから、積極的に選挙活動に参加し、多くの会員が選挙事務所に足を運び、各陣営の街頭演説にも駆けつけた。これまでに経験したことのない積極的な活動を展開したことにより、各陣営には実際に働く歯科医師連盟としての印象を植え付けられた。絶対目標であった両名の当選を果たすことができたことは、ひとえに多くの県歯・本連盟両会員のご努力とご支援の賜物と衷心より感謝申しあげる。

一方、全国の歯科医師連盟組織代表である山田宏候補は175,871票を獲得し、歯科医師ではない初めての組織代表議員が誕生した。全国歯科医師連盟からは神奈川県は山田宏候補を支援していないとの噂を耳にしてきたが、本連盟は日歯連盟からの要請には誠心誠意、組織として応え、選挙も組織を挙げて努力してきた。県内の得票数を見ていただければ誤解であることは言うまでもない。島村参議院議員を抱えている我々にとって、他の医療系組織代表候補を複数名推薦している地域事情か

ら評されたと思われるが、日歯連執行部に事前に報告し了承をいただいていたものだ。

しかし、私は今でも日歯連の組織代表候補者推薦規則に『歯科医療に関する専門的見識を有する者』と記されているにも関わらず、目先の政治力に頼り、歯科



政務官室にてお気に入りのワンショット

医師でない候補者を組織代表としたことに大きな疑問を抱いており、我々の代表となる組織代表者は歯科医師であるべきと考えている。組織を代表する議員が歯科医療推進以外も政治信条に抱え活動し、行政との折衝に専門家としてエビデンスを説く事のできない議員が今後いかに臨むのか。他の医療団体からはどの様に映っているのか。非会員である候補者が我々会員の浄財で選挙に臨む事への疑問は感じないのか。我々の組織代表である議員の今後の政治活動に注視して行くことが歯科医師連盟の義務であることは言うまでもない。



三原、浅尾 両陣営を激励

山田宏議員を表敬訪問

7月14日(木)本連盟役員は、霞ヶ関の参議院議員会館を訪ね、歯科医師ではない初めての組織代表議員となった山田宏参議院議員を訪ね、祝福するとともに歯科界の未来を託した。



山田宏氏に全国4位の得票数 三原氏・浅尾氏も4位以内当選で組織力誇示 ～ 第26回参議院議員通常選挙～

本連盟では重点推薦候補者3名（山田宏氏、三原じゅん子氏、浅尾慶一郎氏）、推薦候補者3名（自見はなこ氏、神谷まさゆき氏、園田修光氏）を決定し応援した。会員の皆様には様々な形でご協力いただけましたことを先ずは御礼申し上げる。

比例代表の山田宏氏は、日歯連の組織代表候補としては初めての歯科医師ではない候補であり、正直なところ苦戦も予想されていた。本連盟では得票目標数を7000票と日歯連に提出したが、結果的にはそれを大きく上回る**8080票**を得ることが出来た。この得票数は、東京、大阪、愛知について



大好評の「連盟のぼり」

全国4位であり、連盟会員1名あたりが3票を獲得した計算となる。医療界の票としても、医師会の自見氏の8位について10位と、歯科医師票の組織力、結束力を世間に知らしめることができた。国民皆歯科健診を公約に掲げられているので、実現に向けてこの6年間は必死に働いていただきたい。我々の代表ですから、その政治活動には常に厳しい目で注視していきたいものだ。自見氏、神谷氏は当選したが、園田氏は残念な結果となった。母体は老施協という数が多い団体なので、うまく取り込めれば島村選挙の票の上積みにもつながると考えていたが、意外と票のまとまりに欠ける団体であったようだ。ただし、今後も協力いただけるとのことで、捲土重来を期待したい。

神奈川県選挙区では、三原氏、浅尾氏の両名を4位以内で当選させなければいけないという難しい選挙だったが、1位に三原氏、4位に浅尾氏という満足できる結果となった。かながわ自民党も2名を公認したことによって、議員間の軋轢が生じてしまったようだが、やはり選挙は割れると難しいことを痛感した。本連盟では二人の候補者の応援を満遍なく行い、役員総出で駅頭等に「神奈川県歯科医師連盟」ののぼりを持って駆けつけ応援した。議員からの評判もよく「どこに行っても来

てますね!」
というような評価もいただいた。県会・市会をはじめとする議員達にも、歯科医師連盟は必死



に応援してくれているのだというアピールが必要だ。それはなぜか？すべての選挙は島村選挙に通じているからに他ならない。

早いもので、3年後はいよいよ島村大議員の3回目の選挙となる。我々が最も大切にすべきは島村大議員だ。100万票を目指す島村大議員にとって、歯科界の票は微々たるものだ。残念ながら我々の力だけではどうしようもない。したがって選挙協力が必要になってくるのだ。三原氏と浅尾氏の票を足すと135万票にもなる。「選挙の借りは選挙で返す」という言葉があるが、三原氏、浅尾氏も今回我々が必死で行った応援は記憶に残っているに違いない。そして医療系の団体である医師会、薬剤師会、老施協への推薦、協力は必要であることをご理解いただきたい。すべての選挙の票の上積みが島村票につながると考え、来年4月の統一地方選挙に臨もうではないか。

(理事長 川越元久 記)



歯科界の票は重要

～第51回定時評議員会～

6月23日（木）午後6時より県歯会館にて定時評議員会が久しぶりの対面にて開催された。冒頭に点呼が行われ、出席評議員45名、議決権行使書の提出をした評議員13名と報告があった。続いて西山副会長の開会の挨拶があり、海野評議員（川崎市）と林評議員（大和綾瀬）が議事録署名人に選出された。鶴岡会長挨拶では、連携強化の協議題にさまざまな意見をいただいたお礼と、歯科界の票というものの重要性から参院選への協力を訴えた。

続いて、県歯松井会長の挨拶、島村大参議院議員の国政報告と庶務及び事業報告があった。島村議員の報告では、骨太方針に入った国民皆歯科健診だが予算はないので企業健診の方が現実味があることや厚労省内の審議官など人脈を育てる重要性を挙げた。

報告の後、議事に入り4つの議案

が上程された。

第1号議案：神奈川県歯科医師連盟特別事業等積立金取崩しに関する件

第2号議案：神奈川県歯科医師連盟一般会計令和3年度収入支出決算に関する件

第3号議案：神奈川県歯科医師連盟令和3年度貸借対照表、財産目録に関する件

第4号議案：神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

全ての議案が可決、承認された。最後に小川副会長の閉会の辞で終了となった。



参院選への協力を訴える会長



白熱する対面での会議

来年4月の条例改正へ

～県歯をバックアップ～

平成23年3月に制定された「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が平成30年に改正が行われ、この度、新たな改正期を迎えた。条例の施行の状況について検討を加え、必要な措置を講ずることが求められたことから、県歯と本連盟が協働し条例改正に取り組んでいる。昨年7月から県議を含めた数回に

わたる打合せ、オーラルフレイル議連との勉強会を繰り返し、9月中旬に代表質問、12月に改正案報告、来年2月に条例改正議案提出、4月1日改正条例施行の予定となっている。

（常務理事 高倉康介 記）

第2次岸田改造内閣 祝入閣 河野太郎氏は再入閣、山際大志郎氏は留任

8月10日発足した第2次岸田改造内閣にて閣僚人事の発表があった。

- ▶ 河野太郎 衆議院議員（第15区：平塚市・茅ヶ崎市・中郡） デジタル大臣
- ▶ 山際大志郎 衆議院議員（第18区：川崎市高津区・宮前区・中原区大戸地区） 経済再生担当大臣・新型コロナ対策担当大臣
- ▶ 星野つよし 衆議院議員（第12区：藤沢市・寒川町） 内閣府副大臣

新政務官就任（本連盟推薦議員）

- 自見はなこ 参議院議員（比例代表、医師） 内閣府大臣政務官
- 本田顕子 参議院議員（比例代表、薬剤師） 厚労大臣政務官兼内閣府大臣政務官

歯科界の発展に向け決意新たに

参議院議員 島村 大

神奈川県歯科医師連盟の先生方におかれましては、日頃より私の政治活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、依然として新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、手を緩めることなく感染予防の徹底をはかり、安心・安全な歯科医療の提供に尽力くださっている皆様に深く敬意を表します。

さらに、本年7月の参議院選挙におきましては、歯科の皆様の大きなお力により、神奈川県選出の自民党候補、三原じゅん子議員、浅尾慶一郎議員の両氏が見事当選を果たしました。重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、参院選後の内閣改造に伴い、8月12日をもって厚生労働大臣政務官兼ワクチン推進担当大臣政務官を退任いたしました。昨年10月から約10ヶ月間に渡り、政府の一員として新型コロナ対策をはじめ我が国の厚生政策に奔走してきましたが、大変貴重な経験を積ませていただきました。そのような機会に恵まれたことに心から感謝をしています。また、6月までの本年通常国会では、医薬品医療機器等法改正案、児童福祉法等改正案の2法案が成立し、衆参の厚生労働委員会、

内閣委員会などで34回、答弁に立たせていただきました。後任は薬剤師の本田顕子参議院議員です。過日、全てを託し引き継ぎ式に臨みました。

一方、政務官の間にはできなかったことがあります。厚生労働委員会での質問や、自民党の厚生労働部会などでの発言です。政府の立場とは常に答える側の立場です。基本的に政府の解釈の枠からはみ出すことはできません。

秋の臨時国会からは再び、歯科医師の国会議員として歯科界の発展に向けた発言や疑問点を果敢に投げかけていく所存です。私の国会での発言は、県歯連盟会員各位、同志の皆様のお声が基となっています。ぜひ忌憚のないご意見をどしどしお寄せください。今後もおいっそうのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。



お疲れ様！ 島村大政務官

7月14日（木）本連盟役員は、霞ヶ関の厚生労働省島村大政務官を表敬訪問した。

なお島村大政務官は、内閣改造に伴い、8月12日をもって厚生労働大臣政務官兼ワクチン推進担当大臣政務官を退任した。約10カ月間ではあったが、我が国の厚生政策に尽力した。



厚生労働大臣政務官室にて



感謝の花束贈呈

神奈川県歯科医師連盟 創立70周年記念

前総理大臣・衆議院議員 菅 義偉 氏
デジタル大臣・衆議院議員 河野太郎 氏

～記念講演会開催のご案内～

日時 11月20日（日） 14:00～16:30
場所 神奈川県歯科医師会館地下大会議室



記念講演Ⅰ

『菅内閣の成果とこれからの日本（仮題）』
講師：菅 義偉 氏



記念講演Ⅱ

『我が国の未来（仮題）』
講師：河野 太郎 氏

詳細及び講演会お申込方法は別添の案内書をご覧ください。